

# 2015

平成 27 年 2 月 発行

# きりしまのタネヤ通信

## No. 85

発行/有限会社 国分種苗 899-4332 霧島市国分中央 3-23-8 TEL 0995-45-0275 (代表)

URL <http://kokubutane.com/> E-mail [kokubutane@magma.jp](mailto:kokubutane@magma.jp)

(ブログ/きりしまのタネヤのひとりごと)

先日、お客様からネギの収穫が終わったので緑肥作物を蒔きたいとの電話がありました。次の植え付け予定は6月頃だったので、何の目的で緑肥作物を栽培したいのかをたずねました。線虫対策とこのことでしたので、エンバクの中から品種を選んでお勧めしました。

そもそも緑肥の効果は、

- ① 緑肥作物をすき込むことで有機物が増加し土壌中の微生物が繁殖する。
  - ② 緑肥作物の根が発達することで、土の構造が良くなり、水はけや保水力が高まる。
  - ③ 土壌中の微生物のバランスがとれて病害虫の発生を軽減する。
  - ④ 施設栽培の土壌の塩類濃度を低下させる。
- 以上のように大別できるので、目的別に総合的に判断して最適な緑肥作物を選択することになります。

以前自分の勘違いだったのですが、エンバクのキタネグサレセンチュウの被害を軽減する効果(センチュウを根に侵入させて、根内での増殖を抑え、結果センチュウが減る)は、品種に関係なくえん麦全般にあると思っていたら逆にセンチュウを増殖させるエンバクもあるとわかり、しっかり品種選定をしなければならぬことが再確認できました。

メーカーの話では、年々緑肥作物についての問い合わせが増えてきているそうです。栽培体系の中に上手に緑肥作物を導入してできる限り農薬や化成肥料の使用を低減して環境に負荷のかからない農業を目指すことは、生産者にとっても消費者にとっても共通の目指す方向だと思えます。

今後、様々な機能性を持った緑肥作物が発売されてくることと思います。お客様のニーズに合った緑肥作物をタイムリーに提供できるように努めていきます。

## 究極の高機能液肥「ALA-FeSTA」(アラフェスタ)

「ALA-FeSTA」は「葉緑素」の素になる ALA(5アミノレブリン酸)2価鉄、マグネシウムを始め即効性の各種機能成分(亜リン酸、機能性アミノ酸、微量元素、機能性糖類など)を配合した統合タイプの高機能液肥です。低日照時の葉面散布で抜群の効果を発揮します。

### (ALA - FeSTA の特長)

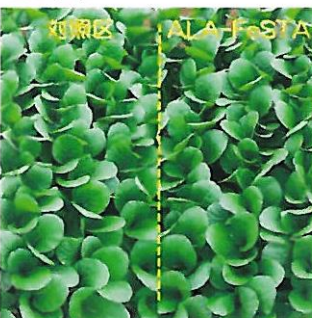
- ※ALA+2価鉄のシナジー効果で葉緑素を積極生成!
- ※低日照時/低温時の葉面散布で光合成や代謝向上に大きな効果!
- ※亜リン酸や機能性糖類などを最適配合。これ1剤で効果を発揮!
- ※ALA 前駆物質のグルタミン酸を配合し剤の持続性と自律性をアップ!

成分	窒素	4.5
	リン酸	6.5
	カリ	5.5

ALA-FeSTAの散布効果 (比較: コマツナ/ホウレンソウ)

コマツナ

ホウレンソウ



がっちりでき、重さが楽りました!  
1000倍を7日おきに3回葉面散布。コマツナは葉色が良くなりツヤが出た。ホウレンソウはガッチリでき、葉幅もしっかり張っています。

色つや良く、立性になります!

### 上手な使い方

- 葉面散布の施用がお勧めです。
- 7~15日間隔で施用します。
- 好適濃度は1000~2000倍です。



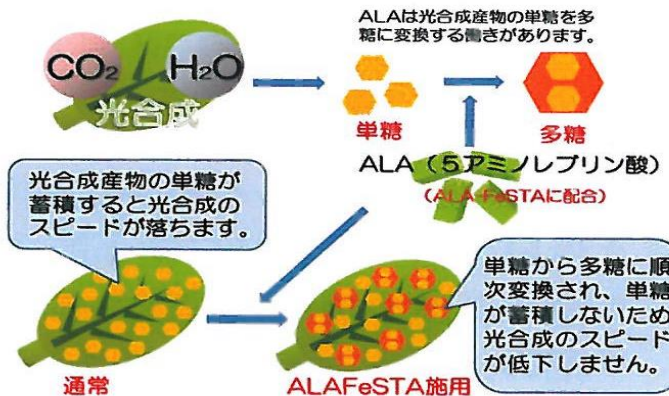
# ALA - FeSTA の効果

## 【参考】ALA-FeSTAの効果について（フロー）

ALA - FeSTAはALA+2価鉄供給により光合成能低下を食い止める効果、グルタミン酸をバイパス供給することでALAを積極的に生成する効果を狙った。各種代謝向上のため「受け」となるNPKは即効性のものを、微量要素もペンタキープGの200%増して配合。

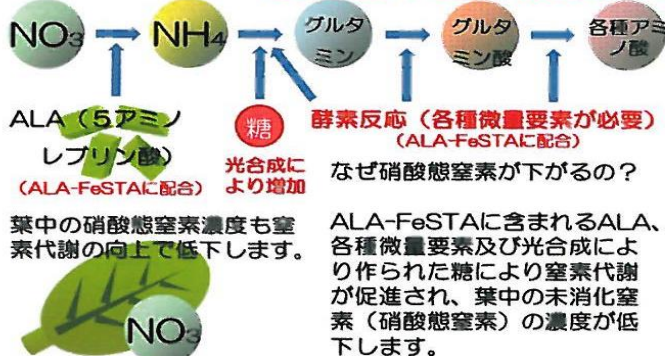


## 効果① 光合成産物の転流促進と光合成能の維持



## 効果② 肥効の促進（窒素代謝の維持）

植物体内での窒素代謝 **鉄力あくあF14と併用で更に効果！！**



## 効果③ 耐塩性・耐寒性の向上（糖蓄積による）

ALA (5アミノレブリン酸) の施用により葉・根に多糖類(フルクタン等)が蓄積し浸透圧を上昇させます。また、塩害における光合成阻害を軽減する役割の植物体カタラーゼ活性を上昇させます。 **サカタ液肥GBと併用で更に効果！！**



# 農事暦

## 平成27年農事暦・旧1月

(有)国分種苗

太陽暦	陰暦(旧)	祝祭日	散布	月の名前	海の干満	水分の動きと生育リズム	液肥	追肥	二十四節気	十干	十二支	六輝	種まき忌日	特殊日
2月19日	旧1月1日	木		新月	大潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	ひのえ	とら	先勝	×	
2月20日	旧1月2日	金	薬剤散布		大潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	ひのえ	とう
2月21日	旧1月3日	土	薬剤散布		中潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	つちのえ	たつ	先負		不成就日
2月22日	旧1月4日	日	薬剤散布		中潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	つちのえ	とみ
2月23日	旧1月5日	月			中潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	かのえ	うま	大安		一粒万倍日
2月24日	旧1月6日	火			中潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	かのえ	ひつじ
2月25日	旧1月7日	水			小潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	みずのえ	さる	先勝		
2月26日	旧1月8日	木		上弦の月	小潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	みずのえ	とり
2月27日	旧1月9日	金			小潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	きのえ	いぬ	先負		
2月28日	旧1月10日	土			長潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	きのえ	とら
3月1日	旧1月11日	日			若潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	ひのえ	ね	大安		不成就日
3月2日	旧1月12日	月			中潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	ひのえ	とし
3月3日	旧1月13日	火			中潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	つちのえ	とら	先勝		天敵
3月4日	旧1月14日	水			大潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	つちのえ	とう
3月5日	旧1月15日	木			大潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	かのえ	たつ	先負	×	
3月6日	旧1月16日	金		満月	大潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	かのえ	とみ
3月7日	旧1月17日	土	薬剤散布		大潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	みずのえ	うま	大安		
3月8日	旧1月18日	日	薬剤散布		中潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	みずのえ	ひつじ
3月9日	旧1月19日	月	薬剤散布		中潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	きのえ	さる	先勝		不成就日
3月10日	旧1月20日	火			中潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	きのえ	とり
3月11日	旧1月21日	水			中潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	ひのえ	いぬ	先負		
3月12日	旧1月22日	木			小潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	ひのえ	とし
3月13日	旧1月23日	金			小潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	つちのえ	ね	大安	×	
3月14日	旧1月24日	土		下弦の月	小潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 N	追肥	つちのえ	とし
3月15日	旧1月25日	日			長潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	かのえ	とら	先勝		一粒万倍日、三隣亡
3月16日	旧1月26日	月			若潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	かのえ	とう
3月17日	旧1月27日	火			中潮	水分の動きと生育リズム 上部への拡散期	液肥	追肥	雨水	みずのえ	たつ	先負		不成就日
3月18日	旧1月28日	水			中潮					水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	みずのえ	とみ
3月19日	旧1月29日	木			大潮	水分の動きと生育リズム 下部への拡散期	葉面散布 P・K・Ca	追肥	きのえ	うま	大安	×		

雨水：陰暦正月の中(旧暦で月の後半にくる節気)で、陽暦では2月18日か19日。雪が雨に変わり、雪や氷は溶けて水となる。忍びよる春の気配に草木がよみがえる、の意味だが、雪国の雪ははまだ深く、関東や東海地方の太平洋側に雪が降るのはこの時期である。

啓蟄：陰暦2月の節で、陽暦では3月5日か6日。啓蟄啓戸「蟄虫(すごもりむし)戸を啓(ひらく)」の日のこと。地中で冬眠をしていた虫たちが姿を表す頃とされ

- 1) 小潮から大潮にかけてのリズムが充実期(盛んに吸肥を行い、細胞を増殖する時期)
- 2) 大潮から小潮にかけてのリズムが伸長期(増殖させた細胞を伸長させる時期)
- 3) 充実期中潮のところにチツソの葉面散布、伸長期の中潮のところにリン酸・カリ・カルシウムの葉面散布